

cue

01



床の記憶
MESSAGE FROM FLOORS.

41

小学校の時に、光GENJIが流行っていて、
すごく好きだったので母から
ローラースケートを買ってもらいました。

外で練習するのが怖く、母に内緒でリビングで練習したら
ワックスがききすぎて滑って転んで
ローラーのあとが思いっきりついた上に
テーブル上の牛乳もこぼれ服もびしょびしょになり、
それ以来、光GENJIが嫌いになりました。

特集

建材がもつデザインの可能性

ミラノサローネ 2015

10年前にスタートした「CUE21」はお陰様で、前号で第20号を発行することが出来ました。そして本号を発行するにあたり、名称を「CUE21」から「CUE」に改め、より魅力的な情報誌へと進化させるべく、ページ構成やデザインを全面的に見直しました。

よくCUEってどういう意味かって聞かれます。CUEは英語で手がかかり、きっかけ、合図という意味があります。つまりCUEという名前には、この情報誌を読んでくださった方に、お仕事に役立つ「手がかかり」を提供できれば、また、この情報誌が、新しい出会いや新しい発見に繋がる「きっかけ」となることができれば。という思いが込められています。

より多くの方に、より気軽に手にとって頂けるようサイズも少し小さくいたしました。今後も天然木にこだわる建材メーカーの視点から、住生活に携わる皆様のお役に立てる情報をお届け出来るよう努めていく所存です。これからも朝日ウッドテックの情報誌「CUE」をどうぞよろしく願いたします。

cue

【cue = 手掛かり、きっかけ】

世界最大規模のデザインイベント「Salone del Mobile Milano(ミラノサローネ)」。今年も世界約170ヶ国から約32万人の来場者があり、活況を呈しました。5月よりミラノ万博が開催されるということもあってか、ミラノの街は例年以上に活気に満ちていたように感じました。本会場であるローフィエラには2100社を超えるメーカーが出展し、市内各所で350を超えるイベントが開催されるミラノサローネの経済効果は、2億5千ユーロ(約330億円)に及ぶとも言われています。インテリアとデザインの世界で圧倒的な影響力をもつ展示会ミラノサローネ。ここでは、世界中の先鋭的なデザイナー達によって新たなコンセプトとデザインが提案され、これからのインテリアとデザインに大きな示唆を与えてくれます。今回は、このミラノサローネ2015トレンド報告を通じて、「建材がもつデザインの可能性」について考察したいと思います。

特集

建材がもつデザインの可能性

ミラノサローネ2015





nendoモデル「stream」コンセプト発表

プレミアムの新デザイン

世界的デザイナー佐藤オオキ氏率いるデザインオフィスnendo。エルメス、ルイヴィトン、バカラ、スターバックスなど名だたるブランドのデザインを手掛け、世界で今もっとも注目を集めるnendoが、今年のミラノサローネで新しいコンセプトのフローリングを発表しました。

名前は「LiveNaturalプレミアムstream」。当社が今年10月に発売を予定している「LiveNaturalプレミアム」デザインラインの1モデルです。発表は、ミラノ市内のペルマネンテ美術館全館を使って開催された個展「nendo works 2014-2015」で行われました。「nendo works 2014-2015」では、nendoがデザインを手掛けた、当社を含む国内外の19ブランド33コレクションの新作を中心に展示されました。



Trend Analysis

キーワードは
「シックモダン&エレガント」

公式プレス発表によると、海外からの業界関係者の来場者数は全体の66%を占め、第一位は中国からの来場であったとのことでした。しかし実際の現地では数年前に比べて中国人がずいぶん少なくなつた印象を持ちました。同時に昨年までいたるところに散見された中国の富裕層を意識したような派手なインテリアも影を潜め、グレーやベージュを基調とした非常にシックでエレガントなインテリアが例年以上に目立ちました。また、モダンとクラシックの融合を展示のコンセプトとするメーカーが多く、新しい作品とクラシックな作品を組み合わせて見せたり、ファブリックの素材にベルベットなど、柄にチェックや幾何パターンを用いてラグジュアリー感とクラシカルなテイストを加えた作品やコーディネートが多く見られました。

グレートーンのインテリア



CarlHansen & Son



Minotti



Molteni & C

ベージュ、ブラウン系トーンのインテリア



Poltrona Frau



Porada



cassina

クラシックモチーフとしての幾何パターン



Poliform



B&B Italia



NATUZZI



空間に速度を生むフローリング

今回、nendoにデザインしてもらったstreamのコンセプトは「空間に速度を生むフローリング」。横目地をなくし縦方向のみとすることで、流れを生み出すとともに、縦目地の間隔(ピースの幅)パターンを3種類用意し、廊下などの人が移動する場所は流れを早くしたり、窓に面した広い空間はゆっくりりと外部に意識が向かうなど、場所によって速度の変化を付けられるよう、組み合わせる床材です。今回の展示では、コンセプトを強調するために、複数色の着色を施し、ピースを並び替えることで速度感を演出していました。ミラノサローネでの床材の作品は珍しいこともあり、来場者の大きな注目を集めました。



佐藤オオキ

デザインオフィスnendo代表
建築、インテリア、プロダクト、グラフィックと多岐にわたってデザインを手掛ける。2006年Newsweek誌「世界が最も尊敬する日本人100人」に選出され、その後Wallpaper誌(英)、ELLE DÉCOR誌をはじめとする世界的なデザイン賞の数々を受賞

今年特に目立ったオークにグレー着色。



Poliform



MisuraEmme

オークとウォルナットのコンビネーション



Caccaro

今年、注目のユーカリ。トレンドリーダーであるMolteni&Cが大々的に採用した



Molteni & C



Molteni & C

アッシュの浮造り仕上げ



Minotti

こちらもユーカリ。ほとんどが柾目を使いスモーク着色で仕上げている



GIORGETTI



Casa Milano

ウォルナット。昨年までのラスティック傾向が弱まり、きれい目な仕上がりが多く見られた



Porada



Flexform



LIVING DAVANI

オークのスモーク着色仕上げ



LEMA

オークのモカ着色仕上げ



Porada

オークとウォルナット、
そして注目ユーカリ

Woody
Trend

ここ数年、オークとウォルナットが全体の約70-80%を占める二大定番樹種として推移してきておりますが、今年には昨年と比較すると一番手のオークの比率が少し下がっており、ウォルナットの存在感が強くなっていった印象です。オークでは、モカやブラウンなどの濃色に着色して使用されるもの、また今年には特にグレー着色したものが多かったのですが、クリアでの使用も少し増加傾向に感じました。濃色表現については、熱処理（スモーク）が定番になりつつあります。グレー着色はベージュに近い明るく淡いものからダークなもので非常に幅広く見られました。しかしいずれも木の素材感は損なうことなく木味感を感じられる上質な仕上げが施されているのが印象的でした。そして注目すべきはユーカリです。トレンドをけん引する世界

屈指のブランド「Molteni&C」が大々的に採用し、またイタリアンモダンの老舗ブランドである「Giorgetti」や「Casa milano」なような複数のメーカーで確認することが出来ました。いずれも柾目使いで熱処理（スモーク）によつて濃色に着色がされていましたが、今後、世界的に価格が高騰しているウォルナットをはじめとする濃色系樹種の代替としても早生植林木ユーカリの化粧材としての活用が注目されます。

きれいな木目使いと
上品な仕上げ

インテリア全般のシックでエレガントなトレンドに合わせて、木質化粧についても昨年までのラスティック過多の傾向が弱まり、今年にはきれいな木目使いが非常に多かったように思います。塗装仕上げとしてはやはり素材感を感じられるマットなものが主流でした。また、オークやアッシュなどの環孔材は、はつきりと年輪が出てくる木目を活かした浮造り調の凹凸仕上げもよく見られました。



ラスティックテイストは一つのジャンルとして定着。「Riva1920」



大きなキャラクターをデザインとして取り入れる。「Riva1920」



「エル・デコ国際デザインアワード」
ベッド部門はnendoが受賞



デザイン界のアカデミー賞と称される
「エル・デコ国際デザインアワード」授賞式に参加



飛騨産業のチェア。TOKYO のクリエイティブを世界に発信する
「TOKYO DESIGN WEEK」にて



カリモク家具の展示。フィエラにて



ニュージーランドの巨木カウリ材(アガチス)を使ったテーブル。
「Riva1920」



材の欠損部分を透明の樹脂で固めた迫力のデザイン。
「Riva1920」



「LEMA」展示ブース床材。白目止め仕上げ



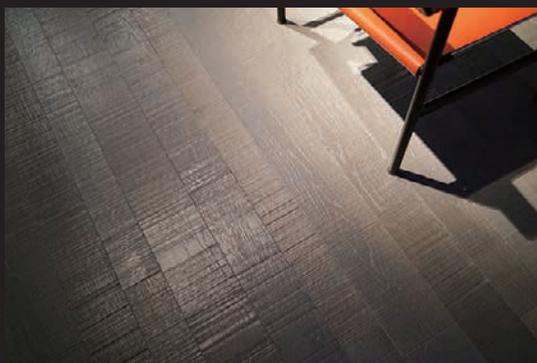
「Minotti」展示ブース床材。
針葉樹のブラック着色浮造り加工仕上げ



こちらも端材同士を透明の樹脂で繋いでいる。「Riva1920」



ウォルナットの端材を使ったテーブル。「Riva1920」



こちらは「Cassina」のショールーム床材。
乱巾グレー着色帯鋸目加工仕上げ



「TOULEMONDE BOCHART」展示ブース床材。矢羽貼り



マルセル・ワンダース率いる「mooi」。写真をリアルにプリントする
最新の技術を使った前衛的な展示



今年も大活躍だったデザイナー パオラ・ナヴォーネ氏に遭遇



色とりどりのフローリング

今年もたくさんのブースで家具にコーディネートされる木の床を見ることが出来ました。特に目を引いたのは、世界的な人気を誇るイタリアのファッションブランド「DIESEL」が手掛けるホームコレクションライン「DIESEL LIVING」のブースです。8つ程の独立した部屋にそれぞれ床が貼り分けられており、そのどれもが独創的な色とデザインになっていました。ここではインテリアにおけるカラー要素としての木の床の可能性とともに、床によって空間のイメージが大きく変わることあらためて感じました。

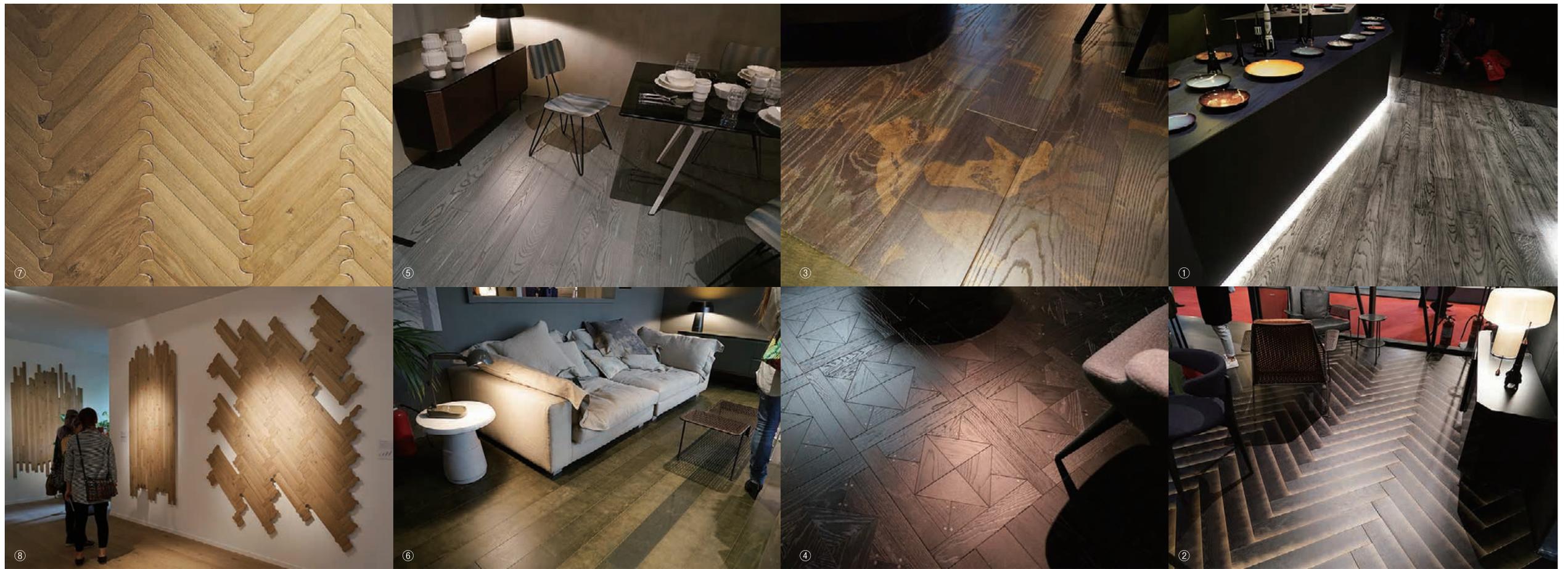
デザイナーの視点でデザインされる床

プロダクトとインテリアを中心とした世界中のデザイナーが最も活躍するイベントとも言えるミラノサローネ。今年も世界のトップデザイナーがミラノに集結し、様々な作品を披露していましたが、今年は比較的珍しい「フローリング」のデザインが2つ発表されています。ひとつはイタリアのフローリングメーカー「Listone Giordano」が発表して

いた新作フローリング「BISCUIT」(…フランス語でビスケット)です。名前の通りビスケットのような可愛らしいデザインは見ているだけでも楽しくなります。デザイナーは、今世界で最も活躍しているデザイナーの一人である、パトリシア・ウルキオラ。ヒットメーカーとして知られるパトリシア・ウルキオラが二年前に発表したデザインタイトル「アズレージ」が今、世界中で大ブームになっているとのこと、もしかしたらこの「BISCUIT」も大きなブームになるかもしれません。

そしてもう一つが当社の発表した「Live Natural」シリーズ「ストリーム」です。先にご紹介したように『ストリーム』のコンセプトは、「空間に速度を生むフローリング」。表面に施される溝の間隔、ピースの幅の違いによって空間の速度を変えようという、新しい発想から生まれたフローリングです。単に幅を変えた、いわゆる乱幅の意匠デザインではなく、空間に意図を与えるという従来になかったデザインコンセプトは、空間やインテリアの作り方を大きく変える可能性を持っています。

新しい空間をつくる「床」



⑦⑧ イタリアのフローリングメーカー「Listone Giordano」が発表した「BISCUIT」(…フランス語でビスケット)。デザイナーは、パトリシア・ウルキオラ

①②③④⑤⑥ DIESEL LIVING展示ブース。部屋によって様々な床材が貼り分けられている

ミラノの展示会場でnendoの佐藤オオキ氏がこのように語っておられました。

「椅子やテーブルといった家具は、従来からデザインの対象として見られてきました。そして、これからはデザインの領域が拡がり、デザイナーの新しい視点によってデザインされた建材で、空間の作られ方が変わってきたり、インテリアや建築の考え方が徐々に変わってくるというのが、大きな変化、流れとしてあるような気がします。その背景として、エンドユーザーがクリエイティブになってきているということがあり、今後、建築の1構成パーツであった建材を『この椅子がいい、このソファがいい』というのと同じ感覚で選ぶ時代に急速になっていくのではないのでしょうか。」

今回のミラノサローネで、偶然にも今世界で最も活躍するパトリシア・ウルキオラとnendo佐藤オオキの二人が、「床材」のデザインを発表したことが、まさに佐藤氏のいうように、建材も新しい発想からデザインし、その建材が空間の作り方を変えていくという時代の到来を象徴しているように思います。

心の豊かさが求められる時代において、新しい感性価値を生み出してくれる「デザイン」は建材においてもますます重要な要素になってきています。そのことをあらためて感じる事ができ、そして、建材・床材にも、まだまだ大きな可能性が拡がっていることを教えてくれた今年のミラノサローネ。今後も、常に新たな発見のあるトレンドの発信地に注目していきたいと思います。

photo: Akihiro Yoshida

まだまだ拡がる建材の可能性



Takara standard



タカラスタンダード
さいたまショールーム (2F design space)
〒331-0052 埼玉県さいたま市西区三橋 5-636
TEL : 048-621-2155
OPEN : 10 : 00 ~ 18 : 00
休館日 : 夏季休暇、年末年始
ご来場の際はお電話にてご予約くださいますよう
よろしくお願いたします。



2

1

1-5
こだわりの素材が創りあげる上質な空間を体感することが出来る。床材には Live Natural プレミアムを採用。

6
ハウスメーカー・ビルダー様向けオールホーローキッチンの前で。タカラスタンダードの吉田さん(左)と朝日ウッドテック営業の市原(右)



4

3

6

5

ご存じですか? タタンカーメン王の黄金マスクが輝きを失わない理由。それはホーローだからです。そのホーローを駆使したシステムキッチン・システムバス・洗面化粧台などを提供するタカラスタンダード。今年、さいたまショールーム内にオープンしたビルダー向けショールーム「デザインスペース」について、埼玉支店営業部特販課課長 吉田達也さんにお話を伺いました。

「御社の強みであるホーローについて教えてください。」

鋼板にガラス質のうわ薬を焼き付け、金属の強さとガラスの美しさという両者の長所を融合させた素材がホーローです。古代エジプトツタンカーメンの時代に生み出されたホーローは産業革命を経て快適な日用品へと進化しました。その近代ホーロー技術が日本に伝えられた明治時代、初のホーロー鉄器工場を設立したのが当社です。以来、ホーローにこだわり、技術を磨き続け、その可能性を拡大した製品開発に努めています。

「今回オープンした「デザインスペース」について教えてください。」

当社は、業界最多を誇る全国約170ヶ所に地域密着型で、直接商品に見て触れて体感し、納得してお選び頂けるショールーム展開を行っています。近年、ハウスメーカー様・ビルダー様向けの商品については、より満足いく提案が出来るよう、独立した空間が設けられないか検討を重ねて参りました。そのような中で、埼玉支店の新しいチャレンジ、取り組みとしてオープンしたのが「デザインスペース」です。

「デザインスペースの特徴は?」

システムキッチンなど仕設機器だけを単純に並べるのではなく、他のインテリア要素と組み合わせる生活シーンを空間としてイメージ出来るようにしているのが特徴です。コンセプトの一つに「ホーローの独自性とナチュラルの融合」があり、鏡面のホーロー素材と木など自然素材をコーディネートし、お互いの素材を引き立たせることで、モダンで上質な空間演出をしています。特に面積が大きくキッチンの見栄えにも影響する床材には、朝日ウッドテックさんの Live Natural プレミアムを採用させて頂きました。

「最後に一言お願いします。」

「デザインスペース」は埼玉エリアでの新しい挑戦として初めたショールームです。年間御契約して頂いたハウスメーカー・ビルダー様が、空間をイメージしながら仕様を検討して頂けるショールームとなっておりますので、ぜひご検討・ご活用頂ければと思います。

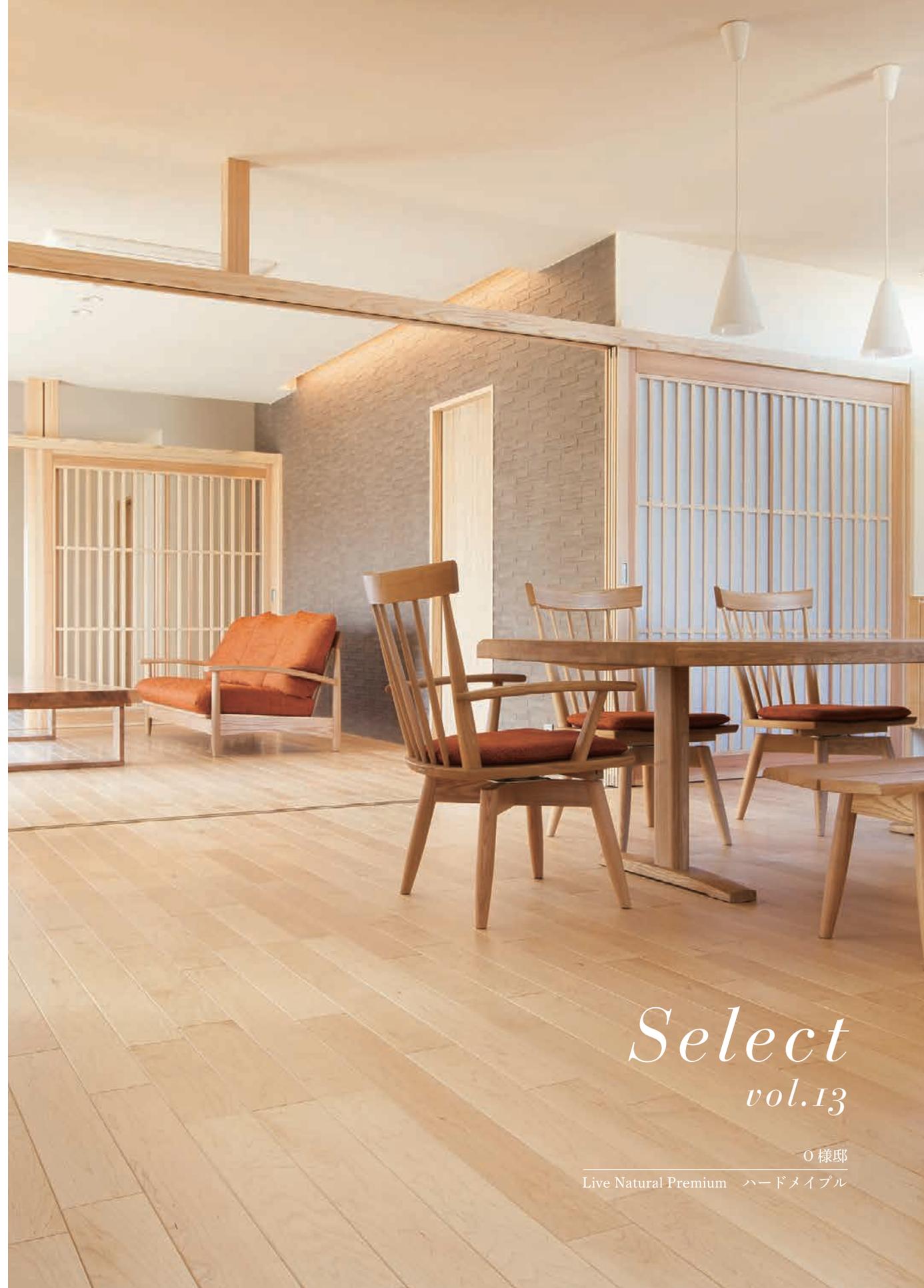


木と光に包まれたダイナミックな邸宅

エントランスドアを開けると開放的な吹き抜け、奥へと伸びるLDKがダイナミックに広がり、中庭から差し込む柔らかな光が心地よく迎えてくれます。玄関はLDKを囲む土間空間としての役割も持たせ、あたたかい木のぬくもりを土間のタイルが引き締めます。

『中庭を見ながらくつろげる空間』『夜、照明（あかり）で栄える空間』をコンセプトとするO様邸は中庭を中心に設計されており、昼間は太陽の光が優しく注ぎ込み、夜は間接照明が暖かく大人な空間を演出してくれます。会社のオーナーでもあるご主人はご自宅を仕事関係者や友人が集まれる空間にしたいという希望もあり、大勢でもくつろげる大空間を設計。楽しく談笑される風景が目に見えそうです。

本物の木にこだわられるご主人は、当初、無垢床材の採用を検討されましたが、「無垢に負けない質感」と評価を頂きLive Natural Premium ハードメイプルをご採用。床暖房にも安心して使用できる点も決め手となったようです。ハードメイプルは柱や梁・壁材に使用されている杉とバランスよく調和され、上品な印象へと繋がっているように感じます。木に対するこだわりが心地よい住まいの誕生に結びつくと感じさせられる物件でした。



Select
vol.13

O様邸
Live Natural Premium ハードメイプル

床は大事
10000人
PROJECT

床は大事
10000人プロジェクト
ただいま6000人！

家族のように
ぬくもり感じる
床は大事。

お客様が一番こだわり
一番長く触れているところだから
床は大事。



貴方も是非、ご参加ください！

【参加方法】

詳しくは弊社ホームページの「床は大事」万人PJ登録ページへ。

- ① 貴方にとっての「床は大事」の理由と必要事項を登録ページに登録して下さい。
- ② 郵送でワッペン兼コースターをお送りします。(樹種は選べません)
- ③ ワッペン兼コースターをもった(身に着けた)写真を登録ページに登録してください。→ 完了



スマートフォンの
方はこちらの QR
コードからアクセ
スしてください。

◎写真やコメントの使用用途

床は大事万人PJの冊子への掲載。その他弊社発行のカタログ・セールスツール、
ホームページ、facebook、CUEへの掲載、ショールームやイベントでの展示

【記念品の進呈】

A. 参加者全員に進呈
【ワッペン兼コースター】



B. 冊子掲載グッドスマイル賞の方
【特製プレミアムオセロ】



C. B以外の冊子掲載の方
【特製スマホスタンド】



「そうだよね。床って大事だよね。」
「だって、床って○○だからね。」
当社では3年前から、イベントやホームページなどのあらゆる場面で、「床は大事」というメッセージを発信しています。そして、ありがたいことに、大変多くの方々に上記のようなことばで、「床は大事」への賛同を頂いております。
ただ、面白いのは、○○の部分＝即ち、床は大事の理由が人によりまちまちなことです。「なるほど、こんな床は大事の理由もあるんだな。」という気づきを頂くこともたびたびあります。
というわけで、この『床は大事』万人プロジェクトでは、住まいのプロの皆様にも「○○だから床は大事」を思い思いにフリップに書いていただき、その写真をWebや冊子として発信していきます。この活動は床専門の最大手メーカーである当社の使命として、住まいに関わる全ての方々に『床は大事』への賛同の輪を広げていきたいという想いで始めました。
しかし、何の根拠もなく、響きがいいので「万人」と勝手に決めてスタートしてしまったものの、果たして、一人も参加して頂けるものでしょうか。
いえ、達成するまで、やり続けます。



編集後記

皆様、こんにちは。編集長の西村です。ミラノサローネ特集いかがでしたでしょうか。今年は1人きりの出張。楽道家の私もさすがに出発前からプレッシャーが大きかったです。大切な出張を「ぎっくり腰で行けなくなりました。」などとすれば一大事です。(強烈なぎっくり腰を何度かしてます…)なんとか体調を崩すことなく無事に帰ってくる事が出来ました！

さて、話が変わりますが、私がいまハマっているのが呼吸法です。健康法で有名な白隠禅師の丹田呼吸法。瞑想に近いものがありますが、やってみると本当に心身ともにすっきりできます。ストレスの溜まっている方、疲れぎみの方はぜひ一度お試しください。では次回もどうぞお楽しみに！



ご意見・ご質問・ご要望等ございましたら
info2@woodtec.co.jpまで

cue

01

発行日 2015年10月1日

編集長 西村公孝

デザイン 鈴木信輔(ポールド)

発行 朝日ウッドテック株式会社



Karl Höfner 500-1
カール・ヘフナー 500-1

世界一有名なベースギター

写真のギターを見て「ビートルズの楽器」「ポールの愛器」と思われた方も多いと思います。今回はポール・マッカートニーのトレードマークとも言えるバイオリンベースを取り上げました。

バイオリンベースはドイツ最大の弦楽器製作所であるカールヘフナー社で製作されています(正式名称はカールヘフナー500-1)。カールヘフナー社は本来バイオリン・チェロといったクラシック楽器の製作が中心の会社です。エレクトリックギターはソリッドボディが多いのですが、バイオリンベースはホロウボディ(アコースティックギターのように中に空洞を持ったボディ)の為、非常に暖かみのある優しい音がします。又、ショートスケール(ネックが短い)で軽量である事からステージ上での扱いも楽で弾き易いというメリットもあります。バイオリンにも似た独特なシェイプも個性的で魅力です。

ポールマッカートニーは、よほどこの楽器が気に入ったらしくビートルズデビュー当初から69年の解散まで、

ほぼこの楽器を使い続けており、まさにビートルズサウンドを支え続けてきた世界一有名なベースギターです。しかし、重低音が出ない、サスティーンが効きにくい等の理由から、バイオリンベースをメイン楽器として

使い続けている有名ベースギター奏者は世界中でポールマッカートニーただ一人です。ビートルズ解散後のソロ活動期においては、フェンダー・ジャズベース、リッケンバッカー・4001S、ヤマハ・BB1200、ウォール・マッハII等に主役の座を一時はとって変わりましたが、1993年度のワールドツアー以降、再びこのバイオリンベースがメインベースとして使われるようになっていきます。

バイオリンベースは、ネックにメイプル、指板にはローズウッド。更にボディ表面にはスプルース、ボディ裏面・側面にもメイプルが使われています。

今年4月の来日公演は大盛況でした。また次の公演を見る機会がありましたら、ぜひこのベースにも注目して下さい。